【伝達講習】　　戸村友香

9つの重要なコミュニケーションスキルを教える

日時：令和4年8月6日（土）Zoom 開催

〈機能的なコミュニケ-ション〉

機能的なコミュニケーションとは、他者に働きかけることによって、その人から行動に関連した直接的または人的な強化子がもたらされることである。

直接的：物的・具体的な物や事柄
人的：人からのリアクション・反応
ASD の場合、人的強化子の価値を学びにくい
(社会的コミュニケーションの難題)

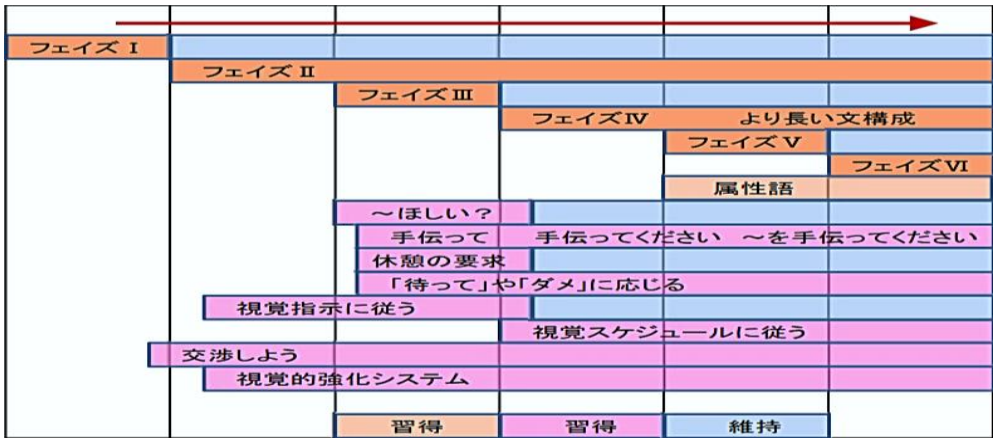
▸全ての行動 ≠ コミュニケーション

・人に働きかける
・メッセージを伝える、発する
・相手から「何か」が返ってくる
重要な3つの要素

▸コミュニケーションは、初語が出る前に発達する

▸最低2人の間で起こるもの（話し手と聞き手）

〈コミュニケーショントレーニングタイムライン〉



〈表出のスキル〉

1. 強化子の要求（～ほしい）　―プロンプト依存での要求は予防する必要がある
2. 援助の要求（手伝って）　―自発出来ること、ルーティンの中に入れ込むのは危険（般化しづらい）
3. 休憩の要求　―目的は逃避すること、欲しい物の要求と休憩の要求は区別する
4. 拒否（いいえ）　―様式は身振りでの学習が良い（いつでも、どこでも応答しやすい）
5. 肯定（はい）　―「いいえ」の連続と1回の「はい」から学習を進めるのが良い

〈理解のスキル〉

1. 強化の遅延　―強化子の要求が出来ることが教えることの前提
   （「待って」）/消失に応じる（「ダメ」）―「待って」→後から強化子あり、「ダメ」→強化子なし
2. 活動間の移行（切り替え）　―次の活動の呈示と強化子を対にする
3. 指示に従う（視覚的・口頭）―すぐに強化的な結果が得られる指示から始める
4. 視覚スケジュールに従う　―絵カードの意味を知る、カードの使い方を知ること